

平成30年度 地域密着型金融推進計画に関する基本方針

○ 当金庫は「お客様一人ひとりとの信頼関係をなによりも大切に、最良のパートナーとして真に利用者のため、良質の商品サービスを提供し、地域社会とともに成長するコミュニティバンクを目指します。」という経営理念のもと地域密着型金融に取り組んでおります。今後も推進計画を継続して取組み、地域のお客様と長期間にわたって築いてきた親密な関係に基づいて、地域の活性化に積極的に貢献してまいります。

○ 具体的には、監督指針における(1)顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮(2)地域の面的再生への積極的な参画

留萌信用金庫

【地域密着型金融の具体的な取組み状況】（平成30年度）

項 目	取組方針	具体的取組策	取組状況
1. コンサルティング機能の発揮			
・ライフステージ等に応じた取引先企業の支援の一層の強化			
①創業・新事業支援	・創業、新事業展開を目指す個人や企業に対し、各種相談等の支援及び積極的な金融支援を行います。	・政府系金融機関（㈱日本政策金融公庫等）及び北海道中小企業総合支援センター等外部機関と連携し支援態勢の充実を図ります。 ・留萌市・留萌商工会議所との「創業支援に係る業務提携・協力協定」に基づき情報の共有を図り補助金申請や事業計画策定等積極的な支援を行います。 ・中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関として創業補助金の助言・事業計画策定支援等を実施します。 ・相談窓口を記載したパンフレットを店頭に備え置き、積極的にPRを実施します。	・創業・新規事業支援融資取扱い実績・・・7先、63百万円 福祉関係など各種業種へ積極的な支援を行いました。 ・認定支援機関として創業支援融資時における事業計画の策定及び補助金に係る支援を行いました。 ・留萌市・留萌商工会議所との「創業支援に係る業務提携・協力協定」に基づく創業支援の実績はありませんでした。今後とも三者間において情報を共有し連携した支援により地域の活性化に取り組んでまいります。
②事業性評価に基づく融資の取組み。	・不動産担保・保証に過度に依存せず、取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価した金融支援を積極的に行います。 ・目利き能力等の向上による人材育成を図ります。	・政府系金融機関（㈱日本政策金融公庫等）、北海道信用保証協会等との連携による金融支援を推進します。 ・外部機関との連携強化や専門家派遣事業の積極的な利用促進を図ります。 ・事業性評価に基づく担保・保証に依存しない「地域活性化応援資金」を積極的に推進します。 ・本部研修や外部機関の研修制度等を活用し職員の「目利き能力」向上を図り取引先のニーズや経営課題解決型金融に対応できる人材育成への取り組みを実施しコンサルティング能力の向上を図ります。	・㈱日本政策金融公庫との連携による協調融資・・・6先、123百万円 ・信金中央金庫との連携による金融支援・・・「るしんハイパーローン」を利用した金融支援を実施 15先、457百万円 ・北海道信用保証協会との連携による金融支援・・・「協調融資型保証制度（名称スクラム3000）」を利用した金融支援を実施 81先、1,451百万円 ・事業性評価に基づく担保・保証に依存しない「地域活性化応援資金」を積極的に推進致しました。支援実績・・・34件、212百万円 ・今後も事業性評価による金融仲介機能の質の向上を図り地域経済の活性化、金融の円滑化に取り組んでまいります。 ・人材育成への取り組み状況・・・目利き力養成講座への派遣2名、事業承継セミナーへの派遣2名、毎年継続実施しているトレーニー研修2名参加、以外に継続的な外部研修への派遣及び内部研修を実施し人材育成の強化を図っております。
③金融円滑化の取組み	・金融円滑化に関する恒久的措置への対応から新規融資や貸付条件変更等の申込みに対する適切な支援態勢の充実を図ります。	・地域金融円滑化の基本方針に基づき、安定的に資金供給し、地域金融の円滑化に取り組めます。 ・貸付条件の変更先に対する経営改善計画の策定支援、進捗状況等を把握し適切な支援を図ります。 ・金融円滑化に関する研修を開催し、相談態勢の強化、関与する職員のレベルアップを図ります。 ・金融円滑化にかかる実績をホームページに公表します。	・貸付条件の変更等を行った貸付債権・・・383件、5,331百万円（単年度）（金融円滑化の基本方針に基づき、集計しております。） 貸出条件変更先に対する経営改善計画の策定支援や進捗管理を行い継続的な支援を行いました。 ・平成30年11月、金融円滑化研修会を実施し、説明態勢等の重要性を周知し職員のレベルアップを図りました。（参加人数17名） ・平成30年3月末時点における金融円滑化取組実績についてディスクロージャー誌にて公表致しました。半期毎の金融円滑化取組実績についても当金庫ホームページ上で公表致しました。 ・地域経済の発展に寄与するため「地域金融円滑化のための基本方針」を基に、引き続き安定した資金供給や貸付条件の変更等の申込みに対し適切な支援態勢を図って行く方針であります。

【地域密着型金融の具体的な取組み状況】（平成30年度）

項 目	取組方針	具体的取組策	取組状況
④経営改善・事業再生支援の強化	- 取引先企業の経営改善等といった課題解決の為に支援を行います。 - 経営改善支援先、事業再生支援先等に対しては、取組先の経営課題解決のために、適切な助言等、コンサルティング機能を発揮した支援態勢を強化します。	- 北海道中小企業再生支援協議会、北海道よろず拠点事業、中小企業支援ネットワーク事業、㈱日本政策金融公庫等外部機関と連携し支援業務の強化を図ります。 - 事業再生支援として経営健全化重点取組先を選定し、支援態勢を強化します。 - 営業店・本部が一体となって経営全体の改善支援に取り組むとともに、改善状況の継続的なモニタリングや伴走型の経営支援を行うことで対象先のランクアップを図ります。 - 取引先企業の様々な経営課題に対し実行性のある適切な経営支援に取組みます。 - 地域企業の重要な経営課題である事業承継について、「一般社団法人しんきん事業承継ネットワーク」と連携した経営支援に取り組めます。 - 経営者保証に関するガイドラインの趣旨を踏まえた適切な対応を行うこととし、顧客への周知徹底により融資償行として浸透・定着を図ります。 - 経営改善支援・再生支援、経営者保証等の取組み結果等をディスクロージャー誌に公表します。	- 認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク、留萌地域中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図りました。（支援ネットワーク事業・・・経営サポート会議1先実施） - 取引先企業の課題解決の為に、専門家派遣事業等を利用した経営支援・・・北海道信用保証協会専門家派遣事業1先、北海道中小企業再生支援協議会との連携による抜本的な再生支援1先を実施致しました。 - 事業再生支援先として経営健全化重点取組先を6先選定し（内管理重点先1先）経営改善計画の進捗状況等のモニタリング及び経営指導を行い、経営改善支援に取り組めました。 - 今後も中長期的に外部機関との連携を図り最終的に取引先企業の再生により地域経済の活性化に寄与する取り組みを推進する方針であります。経営改善支援先の取組結果については、ディスクロージャー誌にて公表致しました。 - 一般社団法人しんきん事業承継支援ネットワークと連携した経営支援の取組みとして、取引先企業の事業承継相談を1件実施致しました。 - 経営者保証に関するガイドラインに基づく活用状況 新規に無保証で融資した件数・・・90件 保証契約を解除した件数・・・27件 ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数・・・1件 今後も経営者保証に関するガイドラインの趣旨を踏まえ適切な対応を行ってまいります。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

①地域創生や地域経済活性化への取組み	- 産学官金とのネットワークを構築し地域の活性化に関する取組みへの参画や連携を図り一体となって推進します。 - 地域の将来を担う人材育成・企業経営力向上等の支援に取組みます。 - 地域貢献、社会貢献活動への積極的な取組みを行います。	- 留萌振興局との包括連携協定に基づく事業として、留萌管内の企業等が行う商品開発等の取組みに対し、事業費の一部を助成します。（るもい元気づくり助成金） - 留萌振興局との包括連携協定に基づき、(1)留萌元気づくりセミナーの開催(2)地域資源のPR資料を営業店に掲示し推進します。 - 留萌市経済活性化懇談会へコアメンバーとして参加します。 「地方創生プロジェクトチーム」の活動として留萌振興局、市町村、商工会議所、商工会等との連携を強化し情報提供、分析、提案等に積極的に参画します。 - 地域を担う次世代経営者（若手経営者・後継経営者・経営幹部等）を対象とした経営塾を開催し、地域貢献に資する人材育成を支援します。 - 札幌医科大学との包括連携協定による事業としてセミナー開催等を行います。 - 留萌商工会議所青年部及び留萌青年会議所等との包括連携協定に基づき、地域の経済・文化などの活性化に向けて相互に連携して取組みます。 - 地域貢献・社会貢献活動として、地域活性化行事等へ積極的に参加します。	- 平成30年度のるもい元気づくり助成金の申込実績は3件、280千円。 - 留萌振興局との包括連携協定事業として、セミナーを1回開催致しました。 - 平成30年6月29日「第14回留萌・元気づくりセミナー」参加人数100人 - 留萌市経済活性化懇談会に定期的に参加し、地域経済の活性化に向けた意見交換会、情報提供等を通じて積極的に関与致しました。 - 地方創生プロジェクトチーム会議を1回開催し各町村における総合戦略の推進状況を共有するとともに、情報提供や提案等に積極的に参画致しました。 - 次代を担う経営者を対象とした「るしん未来塾」を第7期目として開塾し研修会を5回実施致しました。（塾生29名） - 札幌医科大学との包括連携協定事業としてセミナーを1回開催致しました。 - 平成30年11月21日メディカル・カフェwith留萌信用金庫 参加人数58名 - 留萌市、留萌青年会議所および留萌商工会議所青年部等各団体との包括連携協定に基づき、相互に連携・協力して留萌地域の活性化に取り組んでおります。 - 各営業地域において清掃活動等の社会貢献活動を実施しております。 - 今後とも地域貢献等へ積極的に参加する方針であります。
--------------------	--	--	---

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

①当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信	- 地域密着型金融への取組みにおける推進項目や取組結果を地域や取引先に対し積極的に情報発信することで、当金庫の取組みを周知し、地域の活性化と経営の健全性向上に取組みます。 - 地域活性化につながる多様なサービスの一環として、留萌地区中小企業景況レポートによる経営情報の提供を行います。	- 経営内容、地域密着型金融推進計画の推進項目や取組結果等をディスクロージャー誌及びホームページに掲載し公表します。 - 当金庫が作成する「るもいしんきん景況レポート」を調査対象先等へ四半期毎に配布します。 - ホームページにて商品情報など様々な情報をわかりやすく情報発信を行います。	- 当金庫の経営状況、地域密着型金融推進計画の推進項目や取組結果をホームページ及びディスクロージャー誌に掲載し経営の透明性向上を図っております。 - 四半期毎（年4回）に「るもいしんきん景況レポート」を市町村、調査対象先等へ配布公表し、取引先企業等に有用な情報提供を行っております。 - 今後も情報内容等の充実に努め地域活性化に寄与する活動を行ってまいります。
------------------------	---	--	--